

中野区立小中学校再編計画（第2次）【案】 【素案】からの主な変更点

【素案】	【案】	備考
<p><5 ページ></p> <p>I 中野区が目指す教育の姿</p> <p>2. 中野区の学校の現状</p> <p>(4) 小中学校の通学区域の状況 (前略)</p>	<p><5 ページ></p> <p>I 中野区が目指す教育の姿</p> <p>2. 中野区の学校の現状</p> <p>(4) 小中学校の通学区域の状況 (前略)</p> <p>◇ <u>小中学校の連携を推進する必要性</u></p> <p><u>小学校から中学校への接続や学年進行に伴って、学習のつまずきや心理的な発達での課題が現れることがあります。発達段階に即し、連続性のある教育活動を行うことで、学力・体力の着実な向上や精神的な安定がもたらされ、着実な自己形成を促すことが期待されます。</u></p> <p><u>また、異なる校種の教員や地域の人材による授業を推進することにより、子どもたちはより確かな学力を身につけることができ、教員は相互の交流や合同の研修などを通じ、お互いの指導観や指導法を理解し合うことで指導力が向上します。</u></p> <p><u>具体的には、学力向上の視点では、「地域の児童・生徒の実態を踏まえ、小学校、中学校の教員が、共通の視点や理解のもとで行う学習指導」や「読書活動を共通内容とした9年間の取組」、体力向上の視点では、「フラッグフットボールをはじめとする、体力向上プログラムに基づく一貫</u></p>	<p>小中学校の連携を推進する必要性を追記する。</p>

	<p>性・継続性のある指導」、心の教育の視点では、 <u>「学習規律など、生活指導における連携の強化」</u> <u>や「中学生や上級生へのあこがれや相互に協力する態度を育む小中合同行事の実施」</u>を行うなど、 <u>学校間の連携が充実します。</u></p>	
<p><10 ページ> Ⅲ 区立小中学校再編計画改定の概要 1. 再編計画改定に関する考え方 (1) 基本的事項 (前略) ⑥ 再編にあたっては、原則として、既存の校舎を活用し、あわせて、教育環境の確保・向上を図るための大規模改修工事を行います。なお、施設規模などによっては、改築（<u>新築</u>）を行います。</p> <p>(略)</p>	<p><10 ページ> Ⅲ 区立小中学校再編計画改定の概要 1. 再編計画改定に関する考え方 (1) 基本的事項 (前略) ⑥ 再編にあたっては、原則として、既存の校舎を活用し、あわせて、教育環境の確保・向上を図るための大規模改修工事（<u>建物の柱、コンクリート壁等を残したまま、設備や内外装などの大規模改修を行うこと</u>）を行います。なお、施設規模などによっては、改築（<u>建て替え</u>）を行います。</p> <p>(略)</p>	<p>大規模改修と改築の説明を追記する。</p>
<p><11 ページ> Ⅲ 区立小中学校再編計画改定の概要 1. 再編計画改定に関する考え方 (2) 計画期間 (前略) なお、大規模改修を予定している統合対象校は、平成 25 年度に建物の調査・診断を行いますので、統合と通学区域変更の具体的な時期は、平成 25 年度に定めていきます。</p>	<p><11 ページ> Ⅲ 区立小中学校再編計画改定の概要 1. 再編計画改定に関する考え方 (2) 計画期間 (前略) なお、大規模改修を予定している統合対象校は、平成 25 年度に建物の調査・診断を行いますので、統合と通学区域変更の具体的な時期は、<u>この計画と一体のものとして平成 25 年度に定めていきます。</u></p>	<p>来年度示す統合と通学区域変更の時期と再編計画（第 2 次）との関係を追記する。</p>

<11～12 ページ>

Ⅲ 区立小中学校再編計画改定の概要

1. 再編計画改定に関する考え方

(4) 前期の学校再編を踏まえた課題への対応

- ① 保護者や地域住民への情報提供の強化
特に、統合まで一定の期間がある学校について

<12 ページ>

Ⅲ 区立小中学校再編計画改定の概要

1. 再編計画改定に関する考え方

(4) 前期の学校再編での課題とその対応

<前期の学校再編での課題>

- ① 統合により、地域の情報が伝わりにくくなったなどの理由で、学校と地域との連携や地域における健全育成活動がしにくくなったケースがありました。
- ② 通学の安全対策について、早期に対策を示せなかったため、通学の安全などに不安を持つ保護者がいました。
- ③ 指定校変更などにより、統合までさらに小規模化してしまった学校がありました。また、統合に向け友達関係やいじめなどに不安を持つ子どもたちがありました。
- ④ 学校統合委員会では、統合に向けて限られた期間の中で、多くの意見を取りまとめていかなくはならず、統合新校のあり方や施設などについての協議に必要な時間の確保に苦勞しました。
- ⑤ 統合新校とする校舎の改修工事は、夏季休業期間等に行いましたが、夏季休業期間内に工事を完了することができない場合に、学校運営等との調整が難しいことがありました。

<課題への対応>

- ① 保護者や地域住民への情報提供の強化
特に、統合まで一定の期間がある学校について

前期の学校再編での課題を追記する。また、前期における具体的な対応についても追記する。

<p>は、保護者や地域住民などの不安を解消するため、適時適切な情報提供を行います。</p> <p>② 学校ごとの課題に対する早期の対応 <u>通学の安全対策など、個々の学校の課題について早期に対策を示すとともに、保護者や地域住民などの意見を聞いていきます。</u></p>	<p>は、保護者や地域住民などの不安を解消するため、適時適切な情報提供を行います。</p> <p>② <u>通学の安全対策への対応</u> <u>通学の安全対策について、個々の学校の実情を踏まえ、早期に対策を示すとともに、保護者や地域住民などの意見を聞いていきます。</u> <u>【前期の具体的な対応】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>通学安全指導員の増配置</u> ・ <u>ガードパイプの増設</u> ・ <u>歩道のカラー舗装</u> ・ <u>歩行者用信号機の改善</u> ・ <u>交通安全旗の配付</u> ・ <u>地下通路設置要請</u> ・ <u>踏切改良等要請</u> </p> <p>③ 学校ごとの課題に対する早期の対応 <u>児童生徒数が少なくなっても、充実した教育が受けられるよう学力向上アシスタントや少人数指導対応の教員の活用を検討します。また、統合新校の円滑なスタートに向け、学校間の交流活動への支援や人的支援、子どもたちの不安を取り除くため校内体制の強化など、個々の学校の課題について早期に対策を示していきます。</u> <u>【前期の具体的な対応】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学力向上アシスタント、少人数指導対応の教員の活用</u> ・ <u>移動教室・学校行事などの合同実施</u> ・ <u>学校訪問などの交流活動</u> </p>	
---	--	--

<p>③ 学校統合委員会の設置時期 統合新校のあり方や施設などについて十分に協議するため、学校統合委員会の設置時期を早めます。</p> <p>④ 校舎改修の手順 統合新校とする校舎の改修工事を、3 か年に分けて夏季休業期間等に行いましたが、夏季休業期間内に工事を完了することが難しい状況もありました。今後は可能な限り、統合新校としない学校などを仮校舎として一旦統合し、空いた校舎を2年で大規模改修した後に移転することとします。</p>	<p>・<u>スクールカウンセラーの増配置</u></p> <p>④ 学校統合委員会の設置時期 統合新校のあり方や施設などについて十分に協議するため、学校統合委員会の設置時期を早めます。</p> <p>⑤ 校舎改修の手順 統合新校とする校舎の改修工事を、3 か年に分けて夏季休業期間等に行いましたが、夏季休業期間内に工事を完了することが難しい状況もありました。今後は可能な限り、統合新校としない学校などを仮校舎として一旦統合し、空いた校舎を2年で大規模改修した後に移転することとします。</p>	
---	---	--